

## PRESS RELEASE

英ロンドン、2025年9月10日午前6:00

### 3年連続供給不足を再確認、2025年は26トンになる見込み

- 2025年通年の総供給量は5年ぶり低水準、3%減の219トンを予想、総需要は4%減少するが、供給を26トン上回る
- 2025年のプラチナ宝飾品需要は11%増の69トン、中国の成長加速を背景に2018年以来の高水準
- 2025年は投資需要の拡大が続き、2%増の22トン、中国における地金・コインの需要が好調に推移
- 関税に関連する市場の不透明感から自動車需要は小幅減少する見通し、2025年通年では3%減の94トンを予想
- 大規模かつ循環的なガラス生産能力増強の減少により、2025年の工業需要は59トンまで落ち込む見込み

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの **Trevor Raymond** (トレヴァー・レイモンド) CEO によるコメント:

「プラチナはコロナ禍後の取引レンジを抜け、金、銀をはじめとする資産クラス全体をアウトパフォームし、2025年上期のパフォーマンスが最高の商品となりました。プラチナ価格は第2四半期に劇的に上昇し、7月には1オンスあたり1,450米ドルと、10年ぶり高値に達しました。」

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC®) は本日、2025年第2四半期の *Platinum Quarterly* を発表し、2025年の通年予想を修正しました。

2025年第2四半期の総需要は、前年同期比22%減の59トンとなりました。関税関連の懸念が一時的に後退し、在庫水準が巻き戻されたため、当四半期の取引所による保有在庫が10トン減少したことが影響しました。宝飾品需要(4トン増、25%増)、地金・コイン需要(1トン増、55%増)、中国における500g以上の地金需要(0.4トン増、33%増)が前四半期比で力強く伸びましたが、減少を一部補う程度でした。

工業需要は前四半期比では41%増加しましたが、前年同期比では5トン(24%)減少しました。自動車需要は前四半期比では横ばいを維持しましたが、前年比では2%減少しました。一方、総供給量は前四半期比29%増と反発しましたが、前年同期比では4%減の58トンでした。全体として、第2四半期のプラチナ需給は実質的に均衡し、0.4トンの不足となりました。

2025年通年の総供給量は3%減の219トンと予想され、5年ぶり低水準となる見込みです。鉱山供給量は6%減の169トンで、こちらも過去5年間で最低水準です。2025年通年の総需要見通しは245トンで、前年比12トン減となりますが、これは主に大規模で循環的なガラス生産能力の拡大が今年は見られなかったためです。

プラチナ市場は通年では3年連続で大幅な不足(26トン)を記録すると予想され、前回予想から4トン下方修正されました。

### 鉱山供給の減少

2025年第2四半期の鉱山供給総量は、前年同期比8%減の45トンでした。第1四半期に南アフリカにおける豪雨などの操業上の問題の影響を受けて特に低迷した後、第2四半期は前四半期比で回復しました(11トン、34%増)。通年の鉱山供給量は6%減の169トンとなり、コロナ禍前の5年平均を約22トン(11%増)下回る見込みです。

2025年第2四半期も世界のリサイクルには回復の兆しが続き、前四半期比14%増、前年同期比12%増となりました。使用済み自動車触媒の供給量は、白金族金属バスケット価格の改善も手伝って、年内は増加し続けるため、2025年通年のリサイクル供給量は6%増の50トンになると予想されますが、過去の水準に比べれば依然として低水準にとどまるでしょう。

全体的に、2025年の総供給量は3%減の219トンになると予想されます。2025年の地上在庫は、22%減の93トン(過去の推定値の再修正を含む)と予想され、これは4か月半分の需要に相当します。

### 予想を上回る宝飾品需要の伸び

2025年上期のプラチナ宝飾品需要は37トンで、2015年上期以来の高水準でした。2025年第2四半期のプラチナ宝飾品需要は前年同期比32%増の21トンでした。

2025年通年については、プラチナは引き続き金に対する割安感から恩恵を受けているため、宝飾品需要は2024年に見られた回復を超えて、前年同期比11%増の69トンとなると予想されます。世界全体の合計は、2018年以来の高水準となります。特に注目すべきは中国の成長で、前年比42%増の18トンと予想され、日本は健全な5%増が見込まれています。欧州と北米の需要はそれぞれ7%と8%伸長し、過去最高に達すると予想されています。インドでは、国内需要は堅調ですが、米国の関税を巡る不確実性の中で輸出が減少するため、総需要は前年比10%減の7トンに軟化する見込みです。

### 中国を中心とする地金・コインの需要急増

2025年第2四半期は、中国の地金・コイン需要が劇的に急増し、地金・コインの総需要は前四半期比55%増の3トンに達しました。一方で、中国における500g以上の地金需要は前四半期比33%増の1トンとなりました。ただし、当四半期のこの成長とETFへの資金流入のいずれも、関税関連の懸念から2025年第1四半期を通じて高水準に積み上がった取引所保有在庫の流出の影響を相殺するには至りませんでした。その結果、2025年第2四半期の投資需要は2トンの純減となりました。

2025年通年では、中国での旺盛な投資需要が続くため、投資需要は2%増の22トンになると予想されています。中国における地金・コイン需要の増加は他地域の軟調を相殺し、地金・コイン総需要は前年同期比45%増の9トンとなる見込みです。一方、中国における500g以上の地金需要は前年比15%増の6トンになるでしょう。

最近の価格高騰を受けた投資家心理の改善、基調的なファンダメンタルズの底堅さ、金に対するプラチナの持続的なディスカウントが主因となって、下期にはETFへの資金の純流入が再開し、3トンに達すると予想されます。取引所在庫は2025年通年で5トンの純流入が見込まれています。

### 自動車需要が過去5年間の平均を上回る

2025年第2四半期にプラチナの自動車需要は、前年同期比2%減の24トンとなり、変化していく米国の関税政策がもたらす不透明感を特に考慮すると、減少は小幅でした。

通年では、小型車と大型車の両セグメントで触媒を使用する自動車の生産が減少しているため、世界の自動車需要は 3%減の 94 トンになる見通しです。とはいえ、自動車需要は過去 5 年間の平均を 10% (9 トン) 上回るでしょう。

#### 循環的なガラス生産能力が拡大、工業需要は縮小

2025 年第 2 四半期のプラチナの工業需要は前四半期比 41%増の 16 トンでした。前四半期は特に低迷し、その主な原因は、同四半期中の日本の工場閉鎖によるガラス需要の純減でした。

工業需要は 2025 年通年で 22%減の 59 トンになると予想されますが、これは主にガラス需要が 74%減の 6 トンとなる見込みであることによります。化学品は 8%減の 18 トンになると予想され、石油 (14%増の 6 トン)、水素 (19%増の 2 トン)、医療 (4%増の 10 トン)、電気 (2%増の 3 トン) 分野における需要増を相殺する見通しです。

#### ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの Trevor Raymond (トレヴァー・レイモンド) CEO によるコメント:

「プラチナはコロナ禍後の取引レンジを抜け、金、銀をはじめとする資産クラス全体をアウトパフォームし、2025 年上期のパフォーマンスが最高の商品となりました。プラチナ価格は第 2 四半期に劇的に上昇し、7 月には 1 オンスあたり 1,450 米ドルと、10 年ぶり高値に達しました。」

「2024 年 12 月以降、プラチナ市場の逼迫は顕著であり、極めて高いリースレートとロンドン店頭先物市場におけるバックワーデーションはその象徴です。このような市場の逼迫は、第 2 四半期に始まった大幅な価格上昇にもかかわらず続いており、これが市場への金属の流入を促したものの、継続的な市場の供給不足に応えるためには、価格のさらなる上昇が必要であることを示しています。」

「年内については、プラチナ市場は構造的な供給不足に陥っており、プラチナへの投資は依然として魅力的です。金に対するプラチナの大幅なディスカウントが続いていることも、プラチナの魅力を高めています。これは特に中国で顕著で、宝飾品需要、地金・コイン需要ともに、2025 年は極めて力強い伸びを示すと予測されています。記録的な入場者数を達成し、国際的なオーディエンスをこれまで以上に呼び込んでいるなど、上海プラチナウィークの成功は、投資資産としてだけでなく、複数のバリューチェーンにわたる不可欠な鉱物として、プラチナへの関心が高まっていることを示しています。」

プラチナ需給バランス (トン)	2021	2022	2023	2024	2025年予想	2024年 / 2023年成長率 (%)	2025年予想 / 2024年成長率 (%)	2024年第2四半期	2025年第1四半期	2025年第2四半期
<b>供給</b>										
<b>製錬高</b>	<b>196</b>	<b>172</b>	<b>174</b>	<b>179</b>	<b>169</b>	<b>3%</b>	<b>-6%</b>	<b>48</b>	<b>34</b>	<b>45</b>
南アフリカ	146	122	123	129	120	4%	-6%	35	22	33
ジンバブエ	15	15	16	16	15	1%	-4%	4	4	4
北米	8	8	9	8	6	-8%	-26%	2	2	2
ロシア	20	21	21	21	21	0%	1%	6	6	5
その他	6	6	6	6	6	0%	0%	1	1	2
生産者製品在庫における増減 (+/-)	-3	+1	+0	-0	+0	N/A	N/A	+1	-1	+0
鉱山からの総供給量	<b>193</b>	<b>173</b>	<b>175</b>	<b>179</b>	<b>169</b>	<b>3%</b>	<b>-6%</b>	<b>49</b>	<b>34</b>	<b>45</b>
<b>リサイクル</b>										
<b>自動車触媒</b>	<b>50</b>	<b>43</b>	<b>35</b>	<b>36</b>	<b>38</b>	<b>3%</b>	<b>6%</b>	<b>9</b>	<b>9</b>	<b>10</b>
自動車触媒	50	43	35	36	38	3%	6%	9	9	10
宝飾品	13	12	10	9	10	-10%	4%	2	2	3
工業	2	2	2	2	3	7%	7%	1	1	1
総供給量	<b>258</b>	<b>229</b>	<b>222</b>	<b>226</b>	<b>219</b>	<b>2%</b>	<b>-3%</b>	<b>61</b>	<b>45</b>	<b>58</b>
<b>需要</b>										
<b>自動車</b>	<b>77</b>	<b>86</b>	<b>100</b>	<b>97</b>	<b>94</b>	<b>-3%</b>	<b>-3%</b>	<b>25</b>	<b>24</b>	<b>24</b>
自動車触媒	77	86	100	97	94	-3%	-3%	25	24	24
ノンロード	†	†	†	†	†	N/A	N/A	†	†	†
宝飾品	61	58	58	62	69	9%	11%	16	17	21
工業	75	67	74	75	59	1%	-22%	21	11	16
化学	21	21	26	19	18	-26%	-8%	5	5	5
石油	5	6	5	5	6	0%	14%	1	1	1
電気	4	3	3	3	3	5%	2%	1	1	1
ガラス	22	14	15	22	6	41%	-74%	7	-2	3
医療	8	9	9	10	10	6%	4%	2	2	2
水素ステーションなど	1	0	1	1	2	87%	19%	0	0	0
その他	14	15	15	16	16	2%	0%	4	4	4
投資	-0	-16	12	22	22	77%	2%	14	14	-2
地金およびコインの増減	11	8	10	6	9	-40%	45%	0	2	3
中国における500g以上の地金	1	3	4	5	6	20%	15%	1	1	1
ETF保有高の増減	-7	-17	-2	9	3	N/A	-66%	14	-0	3
取引所在庫の増減	-4	-10	0	2	5	244%	200%	-1	11	-10
総需要	<b>212</b>	<b>196</b>	<b>244</b>	<b>257</b>	<b>245</b>	<b>5%</b>	<b>-4%</b>	<b>76</b>	<b>66</b>	<b>59</b>
合計	<b>46</b>	<b>33</b>	<b>-22</b>	<b>-30</b>	<b>-26</b>	<b>N/A</b>	<b>N/A</b>	<b>-15</b>	<b>-21</b>	<b>-0</b>
地上在庫	<b>**138</b>	<b>171</b>	<b>149</b>	<b>119</b>	<b>93</b>	<b>-20%</b>	<b>-22%</b>			

出典: Metals Focus 2021 - 2025 年予想

注記:

- \*\* 2018年12月31日現在の地上在庫 114 トン (Metals Focus)
- † ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれる

-以上-

メディア関連のお問い合わせ先: **Elephant Communications:**  
wpic@elephantcommunications.co.uk

#### 編集者への注記:

##### 『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で作成され、無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの出版物です。WPIC が委託し、プラチナ金属市場の権威ある独立機関である Metal Focus が実施した調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

##### World Platinum Investment Council (WPIC®、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) について

World Platinum Investment Council Ltd.は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する投資家の方々の強いご要望を受けて設立されました

。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者によって 2014 年に設立されました。WPIC の加盟会社は、Valterra Platinum、Implats、Northam Platinum、Sedibelo Platinum、Tharisa、Bravo Mining and Podium Minerals です。

詳細は、ウェブサイト [www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com) をご覧ください

WPIC ロンドン事務局 : World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

WPIC 上海事務所 : World Platinum Investment Council, Unit 1612, Shui On Plaza, No. 333 Middle Huaihai Road, Huangpu District, Shanghai, P.R.China

##### Metals Focus について

Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、白金族金属 (PGM) 市場の調査を専門とし、定期的なレポート、予測、特注のコンサルティングを行っています。Metals Focus チームは 8 つの法域に分散し、世界中の多数の情報源を網羅しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに特化しています。

詳細情報は、ウェブサイト [www.metalsfocus.com](http://www.metalsfocus.com) をご覧ください。

##### プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の物性を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独自の特質を持つため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量 (精製済みオンス) の 72%~79% は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資の 4 つです。

自動車触媒における過去 5 年間のプラチナ需要は、総需要量の 29%から 42%の間を推移しています。自動車以外の工業分野におけるプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 32%となっています（過去 5 年間の平均）。同様に、宝飾品における世界の年間総需要は、プラチナ総需要の平均 26%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の-8%から 21%を占めています（投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く）。

#### 免責事項

World Platinum Investment Council および Metals Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細は、ウェブサイト [www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com) をご覧ください。